

令和 2 年度における浜松市がん対策推進計画の進捗について

健康医療課

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症により多くの事業が影響を受けており、本市のがん対策事業についても、事業の中止や実施方法の見直しを迫られた。

令和 2 年度の事業実施状況については、令和 3 年度第 1 回保健医療審議会で報告予定であるが、現時点の状況について報告する。

1 がんの予防・早期発見対策の推進

(1) がんの予防

- ・計画目標としての喫煙率（20～29 歳、30 歳以上）は、健康はままつ 21 の次期計画の検討の中で、令和 4 年度時点の数値を把握する予定。
- ・【参考】令和 2 年度第 1 回保健医療審議会で指摘があった、浜松市国民健康保険の特定健診受診者（40 歳以上）の質問票から集計した喫煙率は、令和元年度において男性で 18.3%、女性で 4.0%、全体で 10.4%であった。

(2) がんの早期発見

①がん検診受診率

- ・胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がんの令和 2 年度受診率は、令和 3 年度に報告予定。
- ・【参考】令和 2 年度の実績では、4～12 月の実績で対前年度比 80～90%程度となっているが、9～12 月の実績は乳がん検診を除き、前年度を上回る状況となっている。

	胃がん	結核・肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
4～12 月平均	85.6%	90.3%	88.6%	91.6%	82.2%
9～12 月平均	101.9%	104.0%	101.7%	101.8%	85.6%

②がん精密検査受診率

- ・令和元年度の胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がんの精密検査受診率は、令和 3 年 3 月 5 日時点で以下のとおり。（令和 2 年度末時点の元年度精密検査受診率は、令和 3 年度に公表予定。）

	胃がん	結核・肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
令和元年度	72.8%	85.9%	67.8%	74.2%	86.3%
平成 30 年度	73.8%	84.8%	70.7%	74.9%	91.0%

2 地域がん診療連携拠点病院を中心とした医療体制の充実

(1) 地域がん診療連携拠点病院及び地域の関係機関・団体等の連携協力体制

- ・指定要件を満たす市内の地域がん診療連携拠点病院数は、前年度から変更なし。
- ・【新規】令和3年3月下旬に浜松医科大学医学部附属病院が高度型に指定される見込み。

(2) 北遠のがん対策

- ・【中止】例年北遠地域で実施している「市民公開講座&よろず相談会」は、IT機器に不慣れな高齢者の多い中山間地域ではweb講演会が難しく、やむなく中止することとなった。
- ・令和3年度以降の北遠地域でのがん情報の普及啓発の在り方について、今後検討を進める予定。

3 がんになっても安心して暮らせる地域社会の構築

(1) 相談支援、情報提供

- ・令和元年度のがん相談支援センター相談件数は、令和3年度に報告予定。
- ・【見直し】浜松市がん患者就労支援講演会及びピアランスケアに関する医療従事者向け講演会を、インターネット会議システムを用いて実施した。

(2) 在宅療養環境

- ・令和元年度のがん患者の在宅死亡割合は、令和3年度に報告予定。
- ・【新規】浜松市若年がん患者等支援事業費補助金を開始。ウィッグなどの補正具や、若年層の妊孕性温存治療、在宅療養への補助を実施。2月末時点で延べ164件に補助金を交付した。

補助メニュー	内容	実績(2月末)
がん患者医療用補正具購入支援	ウィッグ、補正下着、人口乳房の購入費の一部を補助	161件
若年がん患者妊孕性温存療法支援	40歳未満のがん治療に伴う妊孕性温存療法に係る費用の一部を補助	3件
小児・若年がん患者在宅療養生活支援	40歳未満のがん患者の在宅療養に係る費用の一部を補助	0件

4 将来に向けた基盤整備

(1) がんの教育、普及啓発

(2) 人材育成

- ・令和3年度に報告予定。